

別紙様式第14号(第19条関係)

学長候補者の選考について

鳥取大学長選考等規則第14条の規定に基づき、学長候補者の選考結果を、次のとおりお知らせします。

令和6年9月19日

鳥取大学学長選考・監察会議

1. 学長候補者氏名 原田省

2. 任期 令和7年4月1日～令和11年3月31日

3. 選考した日 令和6年9月19日

4. 選考の理由

学長選考・監察会議は、現学長が令和7年3月31日をもって任期満了することに伴い、「鳥取大学長選考等規則」及び令和6年3月に策定した「鳥取大学長候補者選考基準」に基づき、鳥取大学長に求められる資質、能力を有しているかどうかを慎重に審議し、所信調書等の書類、所信表明演説会、個別面談及び役員・教職員による意向調査の結果等を総合的に勘案して、原田省氏を次期学長候補者とすることを決定しました。

原田省氏は、産科婦人科学、生殖医学及び低侵襲手術が専門で、教育・研究で数々の成果を挙げられると同時に、人格が高潔で、学識が優れ、大学の教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる人物です。また、医学部附属病院長を6年間、理事・副学長を2年間務めた経験を踏まえ、地方国立大学としての鳥取大学を取り巻く厳しい状況を十分に認識して明確な中長期ビジョンを示しつつ、鳥取大学が持つ個性・特色を活かした具体的な方針を持って、優れたリーダーシップを発揮し、大学運営を行うことが出来る人物であることから、次期学長として最適であると判断しました。

学長選考・監察会議は、原田省氏が強力なリーダーシップを発揮し、鳥取大学をさらに発展させていくことを期待します。

5. 選考の過程

(1)令和6年3月21日

令和5年度第4回学長選考・監察会議において、現学長の任期満了に伴う次期学長候補者選考の実施を決定し、鳥取大学長候補者選考基準を策定し公表した。

(2)令和6年5月22日

経営協議会、教育研究評議会及び役員・教職員の推薦資格者に対し、学長候補者の資格を有すると認められる者の推薦を依頼した。

(推薦受付期間：令和6年6月5日～令和6年7月31日)

(3)令和6年7月10日

学長候補者の資格を有すると認められる者として、教育研究評議会から2人の推薦があった。

(4)令和6年7月25日

学長候補者の資格を有すると認められる者として、学内教職員の推薦資格者から1人の推薦があった。

(5)令和6年7月30日

学長候補者の資格を有すると認められる者として、経営協議会から1人の推薦があった。

(6)令和6年8月6日

令和6年度第2回学長選考・監察会議において、学長候補者の資格を有すると認められる者として推薦があった者について審査し、選考候補者2人を決定し、氏名等を公表した。

(7)令和6年8月26日

役員・教職員の投票資格者による意向調査の公示を行った。

(8)令和6年9月9日

選考候補者の所信表明演説会及び令和6年度第3回学長選考・監察会議における選考候補者との面談を実施した。

(9)令和6年9月11日～13日

役員・教職員の投票資格者による意向調査を実施した。

(10)令和6年9月19日

令和6年度第4回学長選考・監察会議において、上記(8)及び(9)の結果等を総合的に勘案し、審議の結果、原田 省 氏を学長候補者として選考した。

※ なお、学長の任命は、国立大学法人鳥取大学の申出に基づいて、令和7年4月1日に文部科学大臣から発令される予定である。